

総務文教常任委員会審査概要報告書

委員長 中村 清志

- | | | | | | | | |
|-----|-------|---|--|--|--|--|--|
| I | 開催年月日 | 令和6年12月17日（火） | | | | | |
| II | 会議時間 | 午後1時00分～午後1時38分 | | | | | |
| III | 出席委員等 | 〔出席委員〕◎中村　清志　　　○新開　広恵　　　出町　　譲
埜田　悦子　　　中川加津代 福井　直樹
本田　利麻　　　金森　一郎 大井　正樹
(◎…委員長 ○…副委員長) | | | | | |
| | | 〔議長〕※本田　利麻　議長は委員として出席 | | | | | |
| | | 〔副議長〕高岡　宏和 | | | | | |
| | | 〔説明員〕別紙名簿のとおり（山下秘書課長が公務のため欠席） | | | | | |
| | | 〔委員外議員〕なし | | | | | |
| | | 〔事務局職員〕高嶋　史恵　　　島田　　輝　　　吉本　昌史 | | | | | |
| | | 〔傍聴者〕1名 | | | | | |

IV 審査の概要

1 付託議案について

- | | |
|-----------|--|
| 議案第 122 号 | 令和 6 年度高岡市一般会計補正予算（第 6 号）のうち本委員会所管分 |
| 議案第 129 号 | 高岡市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例
附則「高岡市手数料条例の一部改正」 |
| 議案第 133 号 | 高岡市公民館条例の一部を改正する条例 |
| 議案第 134 号 | 高岡市体育施設条例の一部を改正する条例 |
| 議案第 139 号 | 指定管理者の指定について（高岡市鋳物資料館） |
| 報告第 5 号 | 専決処分の報告について
（令和 6 年度高岡市一般会計補正予算（第 4 号）） |

及び

- 報告第 6 号 専決処分の報告について
(令和 6 年度高岡市一般会計補正予算 (第 5 号))

以上、予算議案１件、条例議案３件、その他議案１件及び報告２件の計７件については、審査の結果、全会一致で、いずれも原案のとおり可決・承認すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑等は次のとおり。 〉

(以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示)

【議案第 122 号のうち、新高岡駅利用促進事業費について】

- 令和 7 年 3 月の新高岡駅開業 10 周年記念イベントの詳細は。6 年 3 月の敦賀延伸の際にも記念イベントを実施していたと記憶しているが、そちらとの比較等も踏まえて伺いたい。
- △ 6 年 3 月の記念イベントは天候にも恵まれ大変好評であったことから、その事業内容をベースに関係機関との調整を進めているところである。現在検討している内容としては、市民の方々から提供いただいた写真を使用した北陸新幹線のモザイクアートの展示や、ミニ新幹線の運行、公共交通を活かしたデジタルスタンプラリー、マルシェ等がある。また、令和 6 年能登半島地震の際に災害援助等で活動した車両等を中心に、いわゆる「はたらくくるま」の乗車体験を行い、改めて災害への備えについて考えていただくきっかけにしたい。さらに、近隣の商業施設においては記念イベントの趣旨に沿った独自の催事を組んでいただけることになっている。補正予算の規模以上に楽しんでいただける機会を用意したいと考えている。
- 天候に恵まれ、より充実した事業となることを祈念する。(意見)

【議案第 122 号のうち、生涯学習センター ZEB 化検討事業費について】

- 省エネ診断を実施することだが、その効果についてどのように見込んでいるのか。
- △ 省エネ診断では、平成 28 年度を基準とした現在のエネルギー消費量と二酸化炭素排出量を算定する。算定の結果、どの箇所を改修することが効率的なのか、どのような補助金を活用できるのか、といった点が判明すると思われ、以降に ZEB 化を進めるための工法を検討することになる。工法としては、例えば外皮性能の向上や設備改修が考えられる。
- ZEB 化を進めるにあたり、施設の今後の方向性は。
- △ ウイング・ウイング高岡はオープンから 20 年が経過しており、設備更新の検討が必要な時期が訪れている。令和 5 年 11 月に環境省から選定を受けた「脱炭素先行地域」にウイング・ウイング高岡も含まれていることから、ZEB 化を期待して省エネ診断を実施するところである。

【議案第 122 号のうち、財源更正について】

- 一般財源から市債へと変更している項目が複数あるが、このことによってどのような優位性があるのか。
- △ 令和 6 年能登半島地震を受けて、緊急を要する修繕等のために予備費等の一般財源で対応した災害復旧事業のうち、災害復旧事業債が充当可能な支出について財源更正をしている。災害復旧事業債は、後年度に交付税措置されることから、一般財源よりも優位性がある。
- 国からの交付税によって、もともと一般財源で対応することとしていた予算に余裕が生じるが、それらの浮いた予算を今後どのように活用していくのか。

△ 事態の緊急性を考慮して予備費等で対応したが、もともと交付税が措置されると理解した上で対応している。そのため、予算が浮いたとは捉えていない。

【議案第 134 号について】

○ 高岡スポーツコアの人工芝化に伴い利用料金を改定することだが、大幅な改定に驚いている。例えば一般の方がイベント広場全面を利用する場合に、これまで 1,650 円だった利用料金が約 3 倍の 5,000 円になっている。高校生については利用料金がこれまでの約 7 倍となる場合もある。スポーツ少年団や部活動等、利用者の負担が増えることを心配しているが、その点は考慮しているのか。また、利用者に対する説明状況は。

△ 県内他市の人工芝フィールドの 1 時間あたりの料金よりも安価な料金設定としており、これは原価に対する受益者負担率で算定したものである。料金設定について競技団体等とは調整させていただいたが、個別の利用者については丁寧に説明して理解をいただかなければならないと思っており、努力していきたい。

○ スポーツ少年団や部活動は保護者の負担で成り立っていると思う。利用者から利用料金の改定に関する意見等があれば、丁寧に聞いてほしい。(要望)

○ 県内他市の人工芝フィールドよりも安価な料金設定としたとのことだが、これまでの利用料金の改定状況は。

△ 今回は約 4 年ぶりの改定となる。

2 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔教育委員会〕

- (1) 高岡市文化財保存活用地域計画（案）のパブリックコメント（意見募集）について
- (2) 図書館情報システム更新について

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

3 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第 104 条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

4 その他

。次回の本委員会の開催について

令和 7 年 2 月 5 日（水）午前 10 時に開催することが報告された。

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

〈 当局からの報告はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

総務文教常任委員会 当局説明員（26名）

未来政策部長	鶴谷 俊幸	会計管理者 会計課長	柳原 隆
未来政策部政策監	日名田 尚明		
未来政策部次長 総合交通課長	表野 勝之	教育長	近藤 智久
企画課長	寺井 知恵	教育次長	村上 彰
未来課長	江尻 典世	教育次長 学校教育課長・教育改革推進室長	津田 久
情報政策課長	窪田 真寿美	教育総務課長	津幡 佳成
広報発信課長	芹山 奈緒樹	生涯学習・スポーツ課長	澤田 剛章
秘書課長	山下 正博	文化財保護活用課長	長井 剛志
総務部長 選挙管理委員会事務局長	梅崎 幸弘	監査委員事務局長	堺 啓央
総務部次長	柴野 泰彦		
総務部次長 総務課長	新田 裕子		
総務部次長 財政課長	新保 貴之		
人事課長	木村 文徳		
危機管理課長	橘 篤志		
管財契約課長	新田 泰弘		
市民税課長	加藤 康代		
資産税課長	山本 明宏		
納税課長	上口 裕之		